

長かった休校期間がそろそろ明けますね。授業再開にあたっては心配なことがたくさんありますが、先生方がお寄せくださったアイデアが大きな力となっています。本当にありがとうございます。今回はまず、高見真実校長先生よりお言葉をいただきましたので、最初に掲載させていただきます。

### 新たな局面に遭遇している私たちにとって大事なこと

みなさん、お元気ですか。心がくたびれていませんか。

現在、新型コロナウイルス感染症予防のため分散登校や短縮授業等が各校で進められているところでしょう。教育の最前線にいるみなさんは、今までにない状況の中で、危機感や不安感でいっぱいだと思います。でも、そういう気持ちと同時に、子どもたちに学力をつけることと心身の健康のために何をしたらよいのかについて一生懸命前向きに考えておられることなのでしょう。そんなみなさん一人ひとりの顔が思い浮かびます。

小中学校の音楽教育に携わってきた私たちにとって、「歌えない」「リコーダーや鍵盤ハーモニカを吹くことができない」音楽の授業がこんなに続くことは、未だかつて経験がありません。しかも、これがどのくらい続くのかもわかりません。そんな状況の中で、今後の音楽の授業のあり方に悩んでいらっしゃる様子が様々に伝わってきました。上伊那音楽教育研究会も、通常とは異なる形で今年度がスタートせざるを得ません。昨年度の事務局長富成明子先生を中心に、今準備を進めてくださっています。今年度の部長・副部長の先生方には、まだ承認もされていませんが、どんどん動いていただいています。こんな状況だからこそ、1校に一人しかいないことの多い音楽担当者が、自信をもって笑顔で子どもたちの前に立てるために音研としてどんな発信ができるのか。各校の先生方の様々な工夫や実践の具体的情報を共有しようと、研修部長塩澤詩乃先生、広報部の山口陽子先生たちによって精力的に進めていただいて、「ハーモニー」はもうこれで3号目の発信です。たくさん原稿をお寄せくださった先生方、具体的な情報を届けてくださった先生方、本当にありがたいことです。こうして私たちは、今、少なくとも上伊那の音楽教育はどのように動いているのかの情報を共有し、そして自分の学校の子どもたちを思い浮かべて、自分ができることを決める手掛かりにさせていただいているのではないかと思います。手探りで暗闇を進んでいくと、一筋の光が見える。この難局を乗り越えようとするみなさんの工夫とアイデアがその光となって、「自分一人が苦しんでいるのではないのだ」という折れそうな心の支えになり、そしてこの状況にできる音楽、さらには、この状況から生まれてくる新しい音楽の授業のあり方につながっていくのではないかと思います。

自分の学校の子どもたちの実情や、施設面（音楽室の広さや他教室との兼ね合い）等、それぞれの学校によって状況が異なりますので、自分で自分の学校にあった音楽の授業を考えねばなりません。子どもたちも、保護者も、そして先生方も不安があります。考え方や受け止め方も人それぞれです。そんな中で、ぜひ先生方が自信をもって授業に臨むことができるように、心の片隅において進めていただきたいことを2つお願いいたします。

- 1 それぞれの市町村の学校（大きい市は中学校単位等）ではどう考えていてどう実施しようとしているかの情報交換を行って、情報を共有していくことが大事です。隣の学校がやっていることと自分の学校がやるのが大きく異なっていたときに、自分のやろうとしていることが本当にそれでよいのか。「こういう子どもたちに、こういう学校の実情をふまえて、このようにやるのだ」と誰に聞かれても説明ができるように。
- 2 各校の校長先生に相談してください。そして、各校の先生方に相談してください。「歌うのか歌わないのか」「場所はどこ」「いつからいつまで」等、こちらから一番よいのではと考えたことを提案しながら、先生方にご意見をいただいて煮詰めていきます。ご理解いただいて進めるのが、授業を受ける児童生徒にとって安心して楽しい授業になります。最後の決断は校長です。

たとえ歌えなくても、たとえ演奏ができなくても、私たちの心の中には音楽が流れています。子どもたちにとっても、同じようであってほしいと願っています。でも、歌いたいです。演奏したいです。顔を寄せて声を聴き合ったり想いを語り合ったりしたいです。その日は必ず来ます。けれど、その日までに、今できることの最良の選択をしていきましょう。共に。

（箕輪南小学校 高見真実）

高見校長先生のお言葉を受けて、辰野町では15日(金)に、町の音楽担当者会を開いてみました。それぞれ一人で悩むことも多かったので、情報交換ができとても有意義な時間でした。音楽の先生方と久しぶりにお会いできて、すごくホッとしました。話し合った内容を少し載せますので、参考にできるところはしていただけたら嬉しいです。

《辰野町で話し合ったこと》\*学校の規模も状況もそれぞれ違うので、情報共有したことをもとにそれぞれの学校で校長先生や先生方と話し合い方向を決めていく。日々変化していく状況をよく分析して、対応も柔軟に変えていく。

♪歌について♪

- ・隣の人との間隔を開け、マスクを着用したまま小さな声で換気をしながら短時間歌う。

♪器楽について♪

- ・個人持ちの楽器も、打楽器等も、とにかく共有はしない。
- ・学校の規模により差があるので各校で工夫して使用する。
- ・東小や西小は、鍵盤ハーモニカとリコーダーは当面使用しない方向。

♪授業内容について♪

- ・歌を少し歌ったり、リズムアンサンブルをしたり、音楽づくりや鑑賞をしたりそれぞれ工夫する。
- ・辰野町はありがたいことに、大型掲示装置(大型テレビ)やタブレットが各校にあるので、ICTを活用していく。

♪その他♪

- ・課外活動や部活動は25日～活動再開OKが出ているため、各校で相談して工夫しながら再開していく。

他の市町村でも、これから会をもつところがあるようです。先生方の連携に感謝します。

なお、辰野町で話し合ったことをもとに、辰野の小学校で作ってみた資料を添付致しますので、参考にしてみてください。



## みんなで乗り越えよう！緊急、コロナウイルス対策アンケート！～その3～

先生方、「みんなで乗り越えよう！緊急、コロナウイルス対策アンケート」にご協力くださいまして、本当にありがとうございました。たくさんの先生方のご協力のおかげで、先の見えないこの状況の中でも明るい見通しをもつことができました。お忙しい中ご協力いただきまして本当にありがとうございました。ここで一旦、アンケートを閉めさせていただきますが、今後も状況が変わることが大いに予想されますので、このテーマについては随時先生方にご意見を伺うことがあるかと思えます。引き続き、今後のアンケートへのご協力よろしくお願い致します。

### ☆先生方のアイデアその3☆



1 休校中に出した課題があったら教えてください。

南部小学校：二木先生

3年生は、ソラシの曲の楽譜を配り(笛星人)お家の人と一緒に練習してくださいとお願いをしました。1回しか授業で出会ってなくて、しかも器楽はやってはいけないということでしたが、子どもたちのやる気が感じられましたので、冒険ですが課題として出してみました。さて、どうなっているか、心配と楽しみです。

伊那中：宮島先生

動画を作って、オンライン授業を試みています。鑑賞くらいしかできませんが、来週から始まるのでとうなるか心配しています。

富県小学校：小澤先生

1・2年生に鍵盤ハーモニカの課題を出しました。国語の「音読カード」のように、お家の方にサインをしていただく欄をつくって持たせました。



2 休校が明けたらやってみようと思っている授業や、アイデアをお書きください。

\*西箕輪中学校の吉瀬先生と、高遠小学校の鈴木先生からいただいていたアイデアを、前回私がミスでおとししまいました。大変申し訳ありませんでした！お詫びして掲載させていただきます。(山口)

西箕輪中学校：吉瀬先生

・取りあえず、1学期は鑑賞の授業からスタートしようと思っていますが、シューベルトの魔王を扱う時には、僕自身が歌ったり、アイデアを扱う時には実際の衣装を着て授業に登場しようと思ったり楽譜ソフトを有効に使ったりすることができればと考えています。また、文化祭の音楽祭の合唱曲の選曲で、オンラインで出来れば、この先の授業の見通しが立つのかなと思っています。

高遠小学校：鈴木先生

・音楽室は狭いので、さくらルームという広いスペースで行います。2m間隔にテープを貼り、イスを置くようにしてあります。  
・ボディパーカッションやクラッピングファンタジー、楽譜の読み方や歌詞について考えあう。  
・楽典的なものの学習。鑑賞。友だちと接触しないようにする音楽遊びなど…。

富県小学校：小澤先生

「思い切り声を出して歌うことがむずかしい状況」の中で、音楽の授業をするのは他の手だてを工夫してもどうしてもモチベーションが下がってしまいます。状況によりませんが、天気の良い日は、校庭など屋外に出て歌を歌いたいなあ…本当は。

南部小学校：二木先生

南部小学校の敷地には、外で音楽学習できる場所はないだろうかと歩いてみました。良さそうな場所がたくさんあり、あとは子どもたちが登校してくるのを待ちたいです。  
5年生のリズムアンサンブルの学習で、カップス演奏にチャレンジしようと思っているところです。

伊那中：宮島先生

合唱やリコーダーは無理そうなので、ボディパーカッションをやってみようと思っています。自分たちでリズムパターンを考えて、練習し、合わせてみるという活動です。

3 その他(今困っていて聞きたいことや課題におすすめの曲など何でも自由にお書きください。)

南部小学校：二木先生

レミソラシ レミで吹ける“カントリーロード”(4・5年生へ)  
レミソラシ ドレで吹ける“The Rose”(4・5年生へ)  
ソシドレミソラで吹ける“天気の子”(4年生サミング教材)など、楽曲を探して楽譜を書きました。

伊那中：宮島先生

音楽科はなかなか厳しい状況ですが、子どもたちのために頑張っていきましょう！



富県小学校：小澤先生

3年生は、リコーダーを渡せないまま現在に至っています。2と同様休校が明けたら早速指導を始めたいですが、感染予防のために授業者が留意すべきことをできるだけ具体的に知りたいです。



伊那北小学校の森田ひろみ先生が、休み中の課題の実際例を追加で提供して下さいました。本当にありがとうございます。資料として添付させていただきますので、ご覧ください。

♪先生方、どうぞお体には十分気をつけてお元気でお過ごしください！！